



駅体制の見直しについて提案を受ける！

JR東労組水戸地本は7月29日、会社より水戸駅の「駅体制の見直しについて」提案を受けました。目的は、JR東日本グループ経営ビジョン「変革2027」の実現に向け、効率的な業務執行体制を構築し生産性の向上を図り、経営体質の抜本的強化に取り組む必要があることから、駅体制の見直しを実施するとされています。

提案内容については以下の通りです。

1 実施内容及び実施箇所

(1) 水戸駅の管理体制、輸送体制の見直し

(助役) 変7H-1形(不日)×1を廃止する

(輸送) 波動体制を見直す

2 要員体制

| 箇所 | 関係職 | 標準数 | | 記事 |
|-----|-----|-----|----|-------------------|
| 水戸駅 | 助役 | 15 | ▲1 | 変7H-1形(不日)×1を廃止する |
| | 輸送 | 14 | ▲1 | 波動体制を見直す |

3 必要な周知・教育は実施する(管理者間の業務内容の引継ぎ)

4 実施時期 2021年10月1日(金)

主な議論

【管理体制見直し】

- これまで輸送総括助役が担ってきた役割は副駅長、営業助役、輸送助役、当務駅長が担うことになる。具体的な業務の割り振りは水戸駅で決めることとなる。

【輸送体制の見直し】

- 現行の波動体制は東日本大震災以降、JR貨物から委託されていた入換業務の対応としていたが、業務量の減少により見直す。今後も一定程度の入換は発生するが頻度は少なく、見直し後の波動体制で対応できると考える。
- 輸送の作業ダイヤは変わらない。

安全を前提に技術・技能継承できる職場を構築しよう！